

# JIS

## 防爆用ベリリウム銅合金工具類

JIS M 7615<sup>-1987</sup>

(2005 確認)

昭和 62 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 資源エネルギー一部会 鉱山安全用具専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	房村 信夫	早稲田大学
	網本 汀司	財団法人 日本船舶標準協会
	池田 慎治	鉱業労働災害防止協会
	加藤 正夫	石油連盟
	木崎 宏	日本石炭協会
	北山 宏幸	労働省労働基準局
	笹谷 勇	工業技術院標準部
	志賀 四郎	社団法人 日本保安用品協会
	左右田 礼典	労働省産業医学総合研究所
	千葉 民治	昭和スパン製造株式会社
	西田 精利	日本ガイシ株式会社
	西村 光一	財団法人 石炭技術研究所
	廣田 卓司	三木ネツレン株式会社
	二木 久之	日本鋼管株式会社
	山尾 信一郎	工業技術院公害資源研究所
	山口 太郎	全国作業工具工業組合
	吉田 貢	三井液化ガス株式会社
(事務局)	西本 光徳	工業技術院標準部材料規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 37.3.1 改正：昭和 62.11.1 確認：平成 11.3.20

官報公示：平成 11.3.23

原案作成協力者：社団法人 日本保安用品協会

審議部会：日本工業標準調査会 資源エネルギー一部会（部会長 齊藤 顕）

審議専門委員会：鉱山安全用具専門委員会（委員長 房村 信雄）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

# 防爆用ベリリウム銅合金工具類 M 7615-1987

(1999 確認)

## Nonsparking Beryllium Copper Alloy Tools

1. 適用範囲 この規格は、火花によって爆発を起こすおそれのある鉱山、工場、その他の事業場並びに船舶、車両、航空機などで用いる防爆用ベリリウム銅合金工具類（以下、防爆用工具という。）について規定する。

備考 1. 補修用として使用するスパナ及びめがねレンチについて、それぞれ附属書 1 及び附属書 2 に示す。

2. この規格の中で( )を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、規格値である。

2. 種類 防爆用工具の種類は、表 1 による。

表 1 種類

種類				参考	
名称	口の数による種類	口及び柄の角度による種類	その他の特徴による種類	関連規格	
スパナ	片口		丸形	JIS B 4630	
	両口				
たがね				—	
片手ハンマ				JIS B 4613	
大ハンマ				JIS A 8903	
ドラム口金レンチ			平板形	—	
モンキレンチ		23 度形		JIS B 4604	
パイプレンチ				JIS B 4606	
ねじ回し			普通形	JIS B 4609	
めがねレンチ	片口	15 度形		—	
		45 度形			
	両口	15 度形			JIS B 4632
		45 度形			
プライヤ				JIS B 4614	
ペンチ				JIS B 4623	
両つるはし				JIS A 8901	

### 3. 品質

3.1 外観 外観は、有害なきず、割れ、まくれ、曲がりなど使用上の欠点がなく、仕上げは良好でなければならない。

3.2 硬さ 硬さは、HRC 35 以上とする。ただし、パイプレンチ植え歯の硬さは、HRC 40 以上とする。

3.3 強さ 6.4 に規定する方法で試験した後、各部は表 2 に示す品質を満足しなければならない。

引用規格 及び 関連規格：23 ページに示す。